

Noto 07/03/25

$M_0 = 0.144E+20 \text{ Nm}$ ,  $M_w = 6.71$   
 $H = 4.0 \text{ km}$  var. = 0.3221

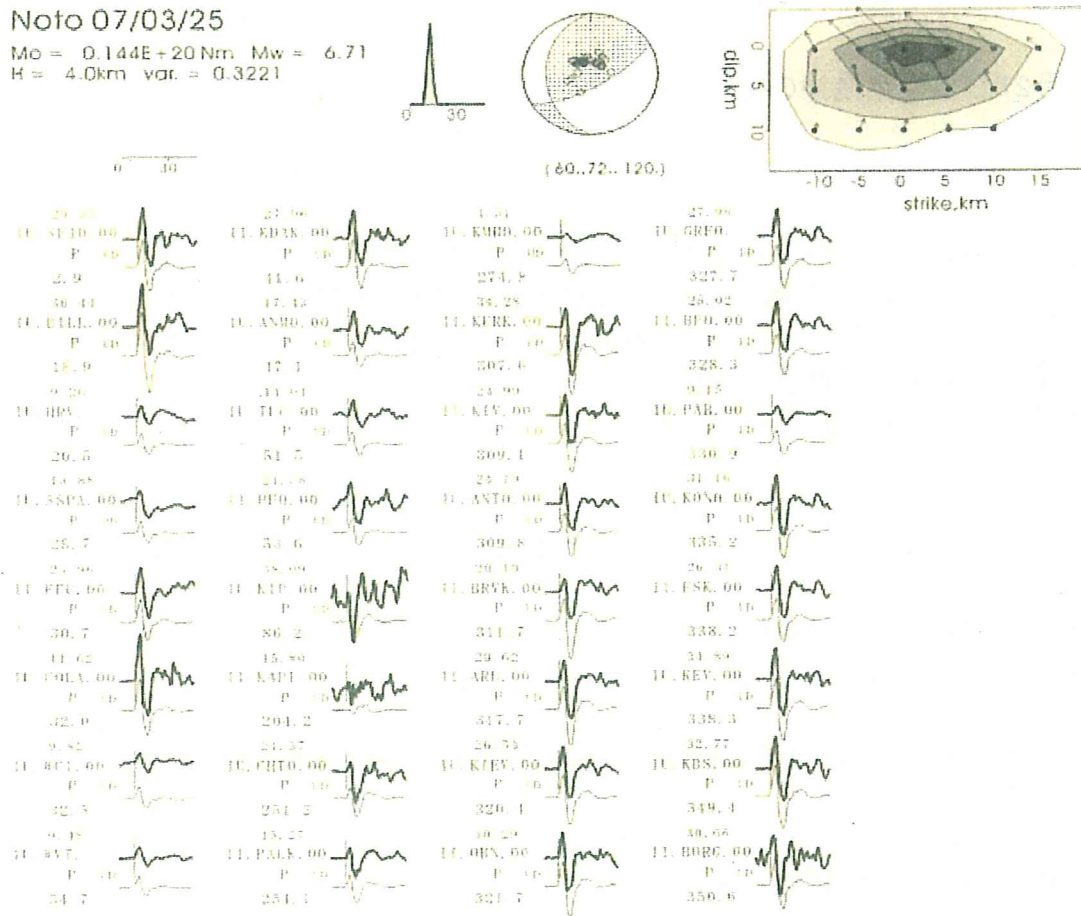


図1 遠地実体波解析の結果

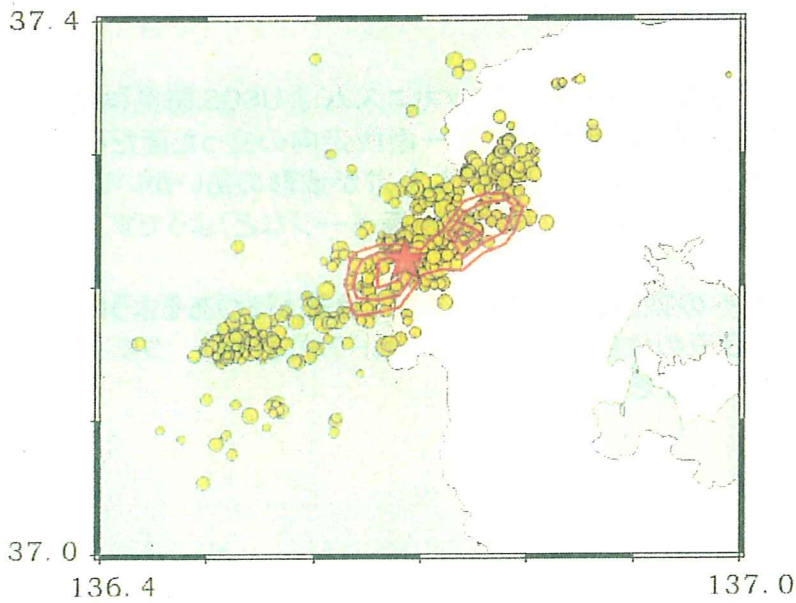


図2 ★は震央, コンターは地震のすべり量分布(0.5m 間隔).  
余震分布は能登半島地震合同観測グループによる.

◆K-net データを用いた近地解析(暫定解)◆  
3月25日能登半島沖の地震(M6.9)

- K-net のデータ6点を用いて解析を行った. 解析に用いた観測点分布は図3の通りである. 断層面の strike, dip は遠地実体波で求めた値を用いた. 深さは 5km とした.
- 結果を図4, 図5に示す. 本震の余震群と最大余震の間は余震活動の空白域になっているが, ちょうどそのあたりで大きなすべりがあり, 余震活動が活発な領域は浅いところに大きなすべりがあったという結果になった. まだ解析は暫定的なものであり, 今後検討する予定である.



図3 観測点分布

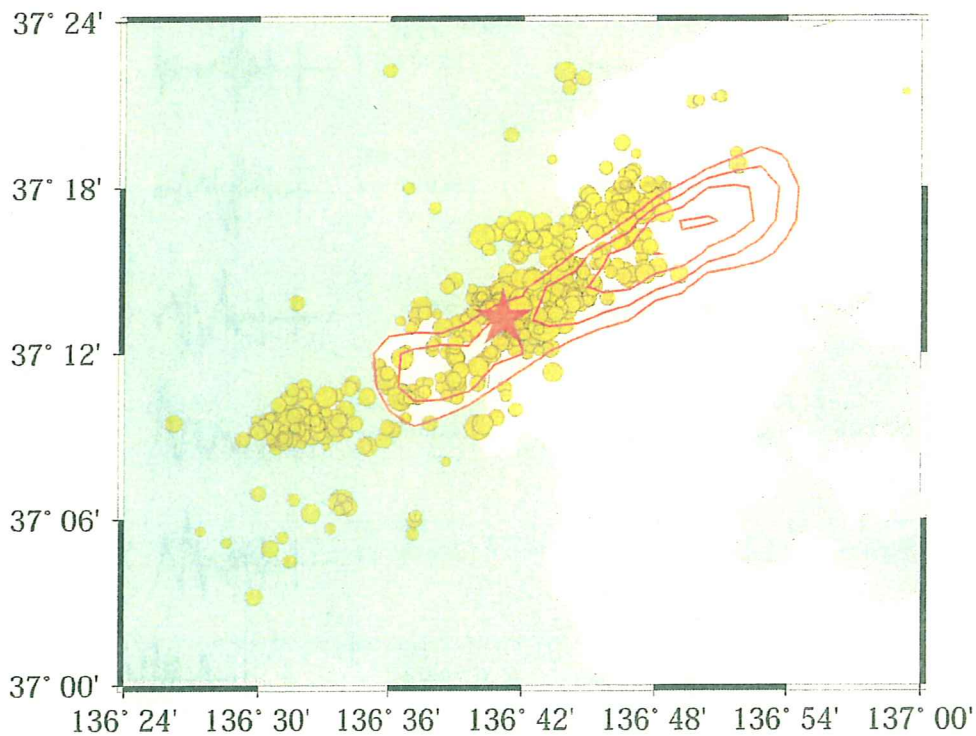


図4 近地解析から求められたすべり分布(コンター間隔は 0.3m). 余震分布は能登半島地震合同観測グループによる.